

開催年月日 平成30年10月5日
 質問者 日本共産党 佐野 弘美 委員
 答弁者 知事

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>一 地域防災と避難所の環境改善等について (三) ブラックアウトに関する情報把握等について (佐野委員) しっかりと検証することは重要です。知事は、北海道大停電を、いつ認識し、いつの時点で報告を受け、そしてどのような対応を行ったのでしょうか。</p> <p>(四) 北電のブラックアウトに関する認識と道への連絡について (佐野委員) 道が知ったのは5時35分とのことですが、では、北電が電気事業者としてブラックアウトの判断をいつ行ったか道は聞いているのでしょうか。当日、北電からの連絡はどのようになされたのでしょうか。伺います。</p> <p>(四) 一再 北電のブラックアウトに関する認識と道への連絡について (佐野委員) 北電は3時25分にブラックアウトを確認したのに、道が確認するまで2時間も情報提供をしませんでした。知事はこのことをどう認識し、対応されたのでしょうか。</p> <p>(五) ブラックアウトの検証について (佐野委員) 2時間あればもっとできることがあったはずですが、分科会審議では、災害対応における情報の収集や住民の避難行動、救出活動や医療活動、避難所の運営や物資の支援などを検証項目とし、停電後の対応についてはライフラインの項目で検討すると答弁されました。ブラックアウトの検証について伺います。国も北電も、北海道大停電・ブラックアウトの検証を行うとされていますが、道としても、検証が必要と考えます。わが会派の代表質問、一般質問で、電源立地の一極集中リスクや、火力発電所の耐震性等について伺ってきましたが、ブラックアウトになぜ至ったのか、なぜ防げなかったのか、道が想定していなかった問題や、どうすれば防げるのか、どのような対応が必要かなど、道としても厳しく検証する必要があるのではないのでしょうか。知事はいかがお考えですか。</p>	<p>(知事) 停電などの情報についてであります。道では、北電からの連絡がない中、災害対策本部指揮室において北電に確認したところ、9月6日5時35分に全戸停電を確認したものであり、私といたしましては、6時20分の登庁の際に、被害情報第1報として報告を受けたところでありました。 その後、7時から災害対策本部員会議を開催をし、北電から、295万戸の停電戸数となっていることや、水力発電所による発電の開始など、復旧に向けた取組についての報告を受けたところでありました。</p> <p>(知事) ブラックアウトの認識についてであります。北電によれば、中央給電指令所及び系統制御所において、系統電圧や周波数などの状況から、9月6日3時25分にブラックアウトになったことを確認したとのことでありました。 また、道では、北電からの連絡がない中、災害対策本部指揮室において北電に対し確認をしたところ、5時35分に全戸停電を確認をしたものであります。</p> <p>(知事) 情報提供に係る電力事業者の役割についてであります。災害時には、正確な情報を速やかに伝達することが極めて重要であり、道といたしましては、停電発生後の北電の対応について十分検証するとともに、正確かつ迅速な情報伝達に努めるよう求めてまいります。</p> <p>(知事) 大規模停電の検証についてであります。この度の大規模な停電については、国の電力広域的運営推進機関において検証委員会が設置され、原因の分析や再発防止策に関する技術的な検証が行われているところであります。 道といたしましては、こうした事態を再び生じさせないよう、北電と国に対し、検証委員会の結果を踏まえて、発電設備や電力システムのあり方を含め、電力の安定供給に万全を期するよう求めるとともに、万が一、大規模な停電が発生したとしても、その影響をできるだけ緩和していけるよう、停電対策のあり方や非常時の備えなどについて、道として検証し、必要な対策を講じる考えであります。 また、エネルギーの分散化の観点も踏まえながら、災害時の備えとしても重要なエネルギーの地産地消の促進に向けて、「新エネ導入加速化基金」などを活用するなどして取り組んでまいります。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>(六) 検証委員会の検証対象について (佐野委員) 道では、今後の再びの大規模停電を想定し、そのため、今回のブラックアウトそのものについても検証ができるよう、専門家を入れ、検証委員会を立ち上げるべきと考えます。知事の見解を伺います。</p> <p>(佐野委員) 一指摘 大停電を招いたエネルギー一極集中の問題は、国と北電まかせではなく、道がしっかり検証してエネルギー分散化を図る責任があります。北海道町村会の棚野孝夫会長は、北海道の電力体系がどうあるべきか、道が中心になって取り進めてほしいと述べています。重く受け止めるべきと指摘をします。</p>	<p>(知事) 今後の対応についてであります。この度の災害では、大地震による大きな被害に加え、道内全域にも及ぶ大規模な停電により道民の暮らしや産業活動が重大な影響を受けているところであります。</p> <p>道といたしましては、有識者や防災関係機関等からなる検証委員会を11月上旬に設置をし、停電発生後の対応など一連の災害対応について検証を行い、年度内を目途に中間提言をとりまとめ、必要な対策を講じてまいります。</p>